



◆新型コロナ関係

新規感染者は1万を割るようになり、兵庫県でも千人を下回っています。第8波もいよいよ収束しそうです。

◆ロシアのウクライナ侵略から1年

昨年2月24日に始まった戦争は、丸1年が経ちました。私の記憶には、ベトナム戦争、イランイラク戦争、湾岸戦争などがありますが、今回のような大国同士の戦争は初めてです。NATOとアメリカがウクライナを支援し、中国イランベラルーシなどがロシアを支援するという、ほぼ第三次世界大戦といってもいいくらいの戦争となっています。

右欄に「戦争はいかに終結したか」という本を紹介しています。読むと戦争の終結がいかに難しいかがよくわかります。

◆幸せに暮らす6つの条件

- ①安全で平和な国に住んでいること
- ②やりがいのある仕事があること
- ③何でも相談できる家族や友人がいること
- ④健康であること
- ⑤良心の呵責がないこと
- ⑥借金がないこと

当法人では、ネパールからの研修生やウクライナから戦火を逃れてきた人を採用しています。彼らがまず口にするのは、毎日安心して暮らせることです。そして、水道の水が飲めること、街が明るいにも驚いています。普段私たちがあって当たり前とおもっていることが、当たり前でない国がいくらでもあるということに気づかされました。



下劣なしかたになじむな。
怠けてふわふわするな。
邪(よこしま)な見解を抱くな。
世俗の煩いをふやすな。
ブツダ

神戸で一番
親切で
丁寧で
優しい医療を



◆私の本棚

・しろがねの葉

千早茜 新潮社

168回直木賞受賞作。世界遺産である島根の石見(いわみ)銀山を舞台にした物語。極貧農家から逃げだし、孤児になったウメが主人公。シルバーラッシュに沸く江戸初期の物語。

天才山師喜兵衛に拾われたウメは銀山の知識や鉱脈をありかを教え込まれ、女だてらに鉱山で働き始める。男世界の抗夫たちの中で過酷な運命に翻弄されながらも生きていく女性を描いている。銀山の厳しさや自然の情景を短文でテンポよく描写しており、320ページも一気読み。

・戦争はいかに終結したか

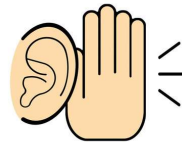
千々和泰明 中公新書

ウクライナ戦争は1年過ぎ、終わりは全く予想できない。主要な戦争の終わりは、根本的解決か妥協的和平があり、それを決定するのは「将来の脅威」をどの程度許容し、「現在の犠牲」をどの程度認めるかによる。

太平洋戦争末期の日本をみると、アメリカは日本を恐れ将来の脅威を根絶やしにするために、東京をはじめ主要都市に無差別爆撃をし、さらに原子爆弾を2回も投下した。

ベトナム戦争でもアフガニスタン派兵も、アメリカは、兵隊の犠牲を許容できなくなり撤退した。

ウクライナ戦争は、根本的解決も妥協的和平も難しい状況であることは間違いない。



慈恵会グループの職員でも
あまり知らない情報です

⑧訪問看護ステーション開設には苦労しました

もみじ訪問看護ステーションができたのが1997年で、介護保険施行前です。当時は、地域医師会の同意がなければ開設できませんでした。

案の定反対され、当時の医師会長に直談判にもいきました。その後、同意なしでも開設出来るようになりましたが、行政が「できれば同意を、」という有様でした。

その後徐々に利用者がふえ、須磨北地区に活動の場をひろげるために2002年北須磨訪問看護リハビリセンターを開設しました。